

山口良臣 YAMAGUCHI Yoshiomi



「転位・転移」

鏡を床に置いて覗き込むと、その中に降りて行けそうで、それだけでも、足下にもう一つの世界が広がっているような不思議な気分になる。鏡が揺れているのに気づくと、とたんに世界が揺れ始める。しばらく眺めていると、世界が揺れているのか、自分が揺れているのか、それとも鏡が揺れているのか、はっきりしなくなってくる。

鏡、アルミ、木、モーター、錘、その他 (90cm x 90cm x 9cm x 6基)

個展/ウエストベスギャラリーコヅカ/2012.7.30 - 8.11

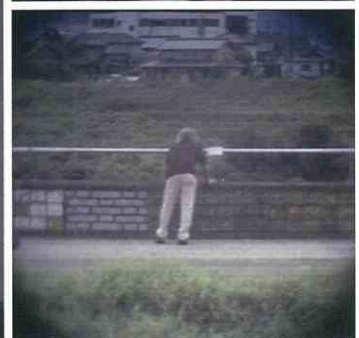


「揺れているのは何？」

基本的な考え方は個展と変わりなく、装置も同じものを使用している。ただ、設置した場所の状況はまったく異なり、個展での閉じたホワイトキューブに対して、窓を介して外部へも開かれた場に設置することで、揺れの体験としてはかなり異なったものとなっている。

鏡、アルミ、木、モーター、錘、その他 (90cm x 90cm x 9cm x 6基)

きそがわ日和・川と町アートプロジェクト夏秋2012 / HÜTTE FURNITURE / 2012. 8. 26 - 9. 2



「見ている？それとも、見られている？」

そこに双眼鏡があれば、覗き込んでみたくなる。その先に広がる風景が見えることを期待して。双眼鏡を覗き込むと、双眼鏡を覗き込んでいる自身の後姿が見える。自分は見ているのだろうか、それとも、見られているのだろうか？

ビデオカメラ、レンズ、モニター、塩ビパイプ、その他

カメラ部：5cm x 5cm x 12cm モニター部：26cm x 23cm x 10cm

きそがわ日和・川と町アートプロジェクト夏秋 2012 / 木曾川堤防 / 2012. 8. 26 - 9. 2